

Message

「威風堂々クラシック」は今年で12回目を迎えます。

これまでこの舞台を支えてくださったすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。

この13年のあいだに、かつて参加してくれた学生たちが成長し、やがて家庭を築き、新しい命を迎えている—そんな話を耳にするたび、音楽とともに流れてきた時間の重みと尊さを実感します。ここで生まれた出会いや経験が、それぞれの人生の中で息づいていることを、何より嬉しく思います。

世界に目を向けると、中東の戦争をはじめ、いまなお多くの対立や悲しみが続いています。その一方で、対話を重ね、平和へと向かおうとする歩みもまた、確かに存在しています。

音楽は、言葉や立場の違いを越えて、人と人とを結びつける力を持っています。音楽の響きは、それぞれ異なる個性が互いを尊重しながら、一つの音楽をつくり上げていく営みです。その姿は、私たちが目指すべき社会の在り方そのものではないでしょうか。

今日ここに生まれる音楽が、皆さまの心に静かな希望を灯し、次の世代へと受け継がれていく平和への願いにつながっていくことを願っています。

どうぞ最後までお楽しみください。

“威風堂々クラシック in Hiroshima”
プロデューサー

大植英次



大植英次プロフィール

1956年10月3日広島市生まれ。大阪フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団名誉指揮者。

タンゲルウッド音楽祭でレナード・バーンスタインと出会い、以後、世界各地の公演に同行、助手を務めた。これまでにミネソタ管弦楽団音楽監督、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者、バルセロナ交響楽団音楽監督、大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督を務め、2000年よりハノーファー音楽大学終身正教授。2005年日本人指揮者として初めてバイロイト音楽祭で指揮し、世界の注目を集めた。2006年大阪芸術賞特別賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。2007年大阪市民表彰受賞。2009年ニーダーザクセン州功労勲章・一等功労十字章受章、広島市民賞、中国文化賞受賞

お問合せ

威風堂々クラシック in Hiroshima 実行委員会事務局 ☎082-244-0750
〒730-0812 広島市中区加古町4-17 ホームページアドレス <https://12dodo.com>



大植英次
プロデュース

威風堂々 クラシック in Hiroshima

題字：藤村 満恵

2026
9/19(土)・20(日)

入場無料 (ただし、広島文化学園
HBGホールは有料)

主 催：威風堂々クラシック in Hiroshima 実行委員会、広島市、
公益財団法人広島市文化財団
協 力：公益社団法人広島交響楽協会、エリザベト音楽大学
後 援：広島市教育委員会、公益財団法人広島観光コンベンションビューロー、
広島商工会議所、中国新聞社、NHK広島放送局、中国放送、
広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島

《 協賛企業 》 マツダ、中国新聞社、ひろぎんホールディングス
大野石油店、中国放送、中電工、広島ガス、広島市信用組合、広島信用金庫、広島電鉄、ヒロタニ、もみじ銀行
広島トヨペット、中国電力、吉村建設

